

ドローンの実演を通して その有効性を探る

参加費無料

ドローンは”空飛ぶおもちゃ”では終わらない

最近、よく目にする「ドローン」。空飛ぶハイテクラジコンだということは分かるけど、それだけでしょうか？本アウトリーチ活動では以下の企画を通して、ドローンというハイテクラジコンを見直してみます。

主催：東北大学流体科学研究所

後援：一般社団法人 日本ドローンレース協会 JDRA

特定非営利活動法人(NPO 法人) natural science



日時：2017 年 1 月 28 日 (土) 13:00-16:40

場所：東北大学 片平キャンパス内 流体科学研究所

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/>



対象：宮城県内の中高生 70 名程度

🌀 聞く

ドローンに携わる技術者を講師にお招きし、ドローンの知られていない凄さを講演してもらいます。また、仙台市の政策担当の方にもお話しいただき、表だって出てこないドローンの「活躍」と「期待」を講演してもらいます。

講師：一般社団法人 日本ドローンレース協会 顧問 大西 清 氏

仙台市経済局 産業政策部 産業振興課長 白岩 靖史 氏

🌀 観る・触れる

実際にプロのオペレーターにドローンを飛行させてもらい、片平キャンパス近郊の空撮を行います。併せて参加者の皆様に実際に操縦してもらいます。

🌀 考える

聞いたこと、体験したことをもとに、ドローン技術をどう使いこなすどう利用するかをグループになって考え、それをグループ発表してもらいます。

受講申込：https://science-community.jp/event/detail.php?event_id=352



保護者の方へ

仙台市が近未来技術実証特区の取り組みを強く進めていることを背景に、中高生を対象としたドローン飛行に関する深い知識習得を目的とした教育活動を行います。国家戦略特区に関わる県政部署、もしくはドローン開発を進めている一般企業から講師を招き、ドローンに関する講演を技術的・政策的な面から行っただき、実際に実演を通してドローンの魅力を体験してもらいます。実演後は、近未来技術としてのドローンをどのように利用していくか、その際の課題点は何かな等を小グループを構成して議論してもらい、最後にグループ毎に発表してもらいます。ディスカッション時には各グループにファシリテータとして大学生1名がサポートします。発表後に講師から講評をいただき、アウトリーチ活動報告としてまとめます。